

チガヤ (茅)

イネ科

5 ~ 6月

季 語 春

つばな 茅花、ちがやのはな 白茅の花



植物分類 : 多年草

春先の葉が出る前に咲く花穂（かすい）をツバナといってなめると甘い味がする。江戸時代にはツバナを売り歩いたという。万葉集に「戯奴（わけ）が為我が手もすまに春の野に抜ける茅花ぞ食して肥ませ」というきのいらつめ紀女郎が大伴家持に贈った歌がある。貴方のために採ってきたツバナを食べて肥ってくださいというのである。

花穂はその後、白絹色の長い毛を持った穂（写真）となり風に揺らぐ姿は幻想的である。

